

## &lt; 検体検査実施料に関するお知らせ &gt;

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」（令和2年3月5日付け保医発0305第1号）を下記のとおり改正し、令和3年12月31日から適用される旨、厚生労働省保険局医療課長より通知されましたのでご案内申し上げます。

敬具

記

《保険収載適用日》

2021年12月31日（金）

《一部改正された項目》

項目名	保険点数
SARS-CoV-2抗原検出（定性）	300点（150点×2回分）
SARS-CoV-2抗原検出（定量）	560点（280点×2回分）
SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出（定性）	420点（210点×2回分）
SARS-CoV-2核酸検出	【検査委託】 1350点（450点×3回分）
	【それ以外】 700点（350点×2回分）
SARS-CoV-2・インフルエンザ核酸同時検出	【検査委託】 1350点（450点×3回分）
	【それ以外】 700点（350点×2回分）

※検体採取を行った保険医療機関以外の施設に検査を委託する場合のSARS-CoV-2 核酸検出及びSARS-CoV-2・インフルエンザ核酸同時検出の点数については、中央社会保険医療協議会総会（令和3年12月8日）において承認されたとおり、感染状況や医療機関での実施状況を踏まえた上で、令和4年4月1日に再度見直しを行い、700点となる予定です。

検体検査実施料が変更された内容

項目名	保険点数	判断料	診療報酬区分	備考
SARS-CoV-2 抗原検出 (定性)	300点 (150点×2回分)	免疫学的検査判断料 (144点)	「D012」感染症免疫学的検査の「25」	SARS CoV 2 (新型コロナウイルスをいう。以下同じ。) 抗原 検出 (定性・定量) SARS CoV 2 抗原検出 (定性) は、当該検査キットが薬事承認された際の検体採取方法で採取された検体を用いて、SARS CoV 2 抗原の検出 COVID 19 (新型コロナウイルス感染症をいう。以下同じ。) の診断又は診断の補助) を目的として薬事承認又は認証を得ているものにより、COVID 19 の患者であることが疑われる者に対しCOVID 19 の診断を目的として行った場合に限り、「 <b>25</b> 」マイコプラズマ抗原定性 (免疫クロマト法) の所定点数 2 回分を合算した点数を準用して算定する。ただし、感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための積極的疫学調査を目的として実施した場合は算定できない。COVID19 の患者であることが疑われる者に対し、診断を目的として本検査を実施した場合は、診断の確定までの間に、上記のように合算した点数を 1 回に限り算定する。ただし、発症後、本検査の結果が陰性であったものの、COVID 19 以外の診断がつかない場合は、上記のように合算した点数をさらに 1 回に限り算定できる。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。なお、SARS CoV 2 抗原検出 (定性) を実施した場合、SARS CoV 2 抗原検出 (定量) については、別に算定できない。
SARS-CoV-2 抗原検出 (定量)	560点 (280点×2回分)	免疫学的検査判断料 (144点)	「D012」感染症免疫学的検査の「46」	SARS CoV 2 抗原 検出 (定量 は、当該検査キットが薬事承認された際の検体採取方法で採取された検体を用いて、SARS CoV 2 抗原の検出 (COVID 19 の診断又は診断の補助) を目的として薬事承認又は認証を得ているものにより、COVID 19 の患者であることが疑われる者に対し COVID 19 の診断を目的として 化学発光酵素免疫測定法 (定量) 又は電気化学発光免疫測定法 (定量) による SARS CoV 2 抗原 検出定量 を行った場合に限り、「 <b>46</b> 」 HIV-1 抗体 (ウエスタンブロット法) の所定点数 2 回分を合算した点数を準用して算定する。ただし、感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための積極的疫学調査を目的として実施した場合は算定できない。 COVID19 の患者であることが疑われる者に対し、診断を目的として本検査を実施した場合は、診断の確定までの間に、上記のように合算した点数を 1 回に限り算定する。ただし、発症後、本検査の結果が陰性であったものの、COVID 19 以外の診断がつかない場合は、上記のように合算した点数をさらに 1 回に限り算定できる。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。上記に加え、COVID 19 の治療を目的として入院している者に対し、退院可能かどうかの判断を目的として 本検査 を実施した場合は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて (一部改正)」 (令和 3 年 2 月 25 日健感発 0225 第 1 号) の「第 1 退院に関する基準」に基づいて実施した場合に限り、1 回の検査につき上記のように合算した点数を算定する。なお、検査を実施した日時及びその結果を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。なお、SARS CoV 2 抗原検出 (定量) を実施した場合、SARS CoV 2 抗原 検出 (定性) については、別に算定できない。
SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出 (定性)	420点 (210点×2回分)	免疫学的検査判断料 (144点)	「D012」感染症免疫学的検査の「39」	SARS CoV 2 ・インフルエンザウイルス抗原同時検出定性 は、当該検査キットが薬事承認された際の検体採取方法で採取された検体を用いて、SARS CoV 2 抗原及びインフルエンザウイルス抗原の検出を目的として薬事承認又は認証を得ているものにより、COVID19 の患者であることが疑われる者に対しCOVID 19 の診断を目的として行った場合に限り、「 <b>39</b> 」単純ヘルペスウイルス抗原定性 (角膜) の所定点数 2 回分 を合算した点数を準用して算定する。ただし、感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための積極的疫学調査を目的として実施した場合は算定できない。COVID19 の患者であることが疑われる者に対し、診断を目的として本検査を実施した場合は、診断の確定までの間に、上記のように合算した点数を 1 回に限り算定する。ただし、発症後、本検査の結果が陰性であったものの、COVID 19 以外の診断がつかない場合は、上記のように合算した点数をさらに 1 回に限り算定できる。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。なお、SARSCoV 2 ・インフルエンザウイルス抗原同時検出 (定性) を実施した場合、本区分「 <b>22</b> 」のインフルエンザウイルス抗原定性、SARS CoV 2 抗原 検出 定性 及び SARS CoV 2 抗原 検出 (定量) については、別に算定できない。
SARS-CoV-2 核酸検出	(検査委託) 1350点 (450点×3回分) (それ以外) 700点 (350点×2回分)	微生物学的検査判断料 (150点)	「D023」微生物核酸同定・定量検査の「9」「14」	~ (前略) なお、検査に用いる検体については、厚生労働省の定める新型コロナウイルス感染症の検査に係る指針を参照すること。採取した検体を、国立感染症研究所が作成した「感染性物質の輸送規則に関するガイダンス 2013 2014版」に記載されたカテゴリー B の感染性物質の規定に従って、検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託して実施した場合は、本区分の「 <b>14</b> 」SARSコロナウイルス核酸検出の所定点数 3 回分を合算した点数を準用して算定し、それ以外の場合は、本区分の「 <b>9</b> 」HCV核酸検出の所定点数 2 回分を合算した点数を準用して算定する。なお、採取した検体を、検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託して実施した場合は、検査を実施した施設名を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
SARS-CoV-2・インフルエンザ核酸同時検出	(検査委託) 1350点 (450点×3回分) (それ以外) 700点 (350点×2回分)	微生物学的検査判断料 (150点)	「D023」微生物核酸同定・定量検査の「9」「14」	COVID 19 の患者であることが疑われる者に対し、SARS CoV 2 及びインフルエンザウイルスの核酸検出を目的として薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品を用いて、PCR法 (定性) により、唾液、鼻咽頭ぬぐい液又は鼻腔ぬぐい液中の SARS CoV 2 及びインフルエンザウイルスの核酸検出 (以下、「SARSCoV 2 ・インフルエンザ核酸同時検出」という。) を同時に行った場合、採取した検体を、国立感染症研究所が作成した「感染性物質の輸送規則に関するガイダンス 2013 2014 版」に記載されたカテゴリー B の感染性物質の規定に従って、検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託して実施した場合は、本区分の「 <b>14</b> 」SARSコロナウイルス核酸検出の所定点数 3 回分を合算した点数を準用して算定し、それ以外の場合は、本区分の「 <b>9</b> 」HCV核酸検出の所定点数 2 回分を合算した点数を準用して算定する。なお、採取した検体を、検体採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託して実施した場合は、検査を実施した施設名を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。